

世界80カ国で活用される DWG互換2次元CAD「ZWCAD」

中国のCADメーカー、ZWCAD SOFTWAREが開発した「ZWCAD」は、標準フォーマットにAutoCAD®互換のOpenDWGを採用した高信頼性CADだ。AutoCAD®との互換性、効率性、カスタマイズ性に優れ、価格はAutoCAD®の約3分の1(65,000円〜)と費用対効果の高い2次元設計のためのCADプラットフォームとして注目が高まっている。最新バージョンのZWCAD2011では新たにパラメトリック製図機能や表作成やフィールド機能&マルチ引出線といった作業効率を高める機能を追加し、設計者の作業ニーズへの迅速な対応を進めている。日本の総販売代理店であるCHAM-Japanの孔祖偉支店長は「ZWCADはすでに世界80カ国で18万ライセンスの販売実績がある。日本でも建築、土木、機械の各分野での導入が進み、ユーザーからの評価も高まってきた」としており、低コスト志向を追い風に日本市場での浸透に拍車がかかりそうだ。

米ITCをベースに開発した IntelliCAD系オリジナルソフト

ZWCAD SOFTWAREは米国のIntelliCAD Technology Consortium (ITC) の主要メンバーで、ZWCADはITCが管理・運営するオープンスタンダードをベースに開発したCADシステムだ。非営利団体のOpen Design Allianceが提供するOpenDWGを採用し、これらのオープンスタンダード技術に独自の機能を付加してAutoCAD®との高い互換性とコストパフォーマンスを実現している。中国製品というAutoCAD®の技術を不正に使用していると印象を与えがちだが、決して知的所有権を侵害しているものではない。

実際、ZWCAD SOFTWAREは従業員数400人と現在のITCのメンバーで最大規模を誇り、半数の200人がソフト開発に携わる技術志向の強い企業である。「軽い操作性や迅速なデータ処理など従来のIntelliCAD系ソフトにはない高いパフォーマンスが得られる。設計者に十分満足いただける」(孔支店長)と開発力に裏付けられた機能の高さを強調する。

AutoCAD®のバージョン2.5から 最新バージョンまで対応

ZWCADはDWG形式のファイルをサポートし、AutoCAD®のバージョン2.5からバージョン2010までのどんなDWGファイルもデータ変換や損失することなく開き、編集・保存することが可能だ。コマンドやエリアスも互換性を持ち、AutoCAD®でカスタマイズしたメニューやツールバー、エリアスをMNUやMNS、PGPファイルでエクスポートおよびインポートできる。リソースファイルの互換性も高く、AutoCAD®プラットフォームで使用されるすべてのリソースファイルはZWCADで使用可能となっている。

ZWCAD2011で新たに加えたパラメトリック製図機能ではオブジェクトの作図と編集の連携機能を提供し、作図精度の向上と設計変更の時間を短縮する。また、作業効率を高めるため表作成、フィールド機能&マルチ引出線の3つの機能を追加。図面内の部品番号をマークし、オブジェクトに対して複数の引出線を引くことができるほか、同じ図面に異なるスタイルのマルチ引出線を引くことも可能だ。ZWCAD2011独自の表機能に加えてエクセルデータのインポートエクスポート機能も提供。

フィールドを含むマルチテキストなどのオブジェクトを作成でき、フィールド値は図面の変更に応じて自動更新される。

「ZWCADではユーザーニーズに応じて毎年新たなメニューを追加するほか、ユーザー自身がカスタマイズを簡単にできるようにインターフェースや機能を強化している」(孔支店長)とユーザーの視点に合わせた体制を整えている。

ネットワークライセンスで 効率的な運用管理が可能

また、ZWCADではユーザーの効率的な管理・運用を図るためネットワークライセンスを提供している(図)。1ライセンスを複数のユーザーで共有できる仕組みで、設計者全員がライセンスを購入しなくても必要な時にCADを利用できる利点がある。任意のパソコンにライセンスマネージャーソフトをインストールするだけで、ローカルエリアネットワーク内では購入ライセンス数以内であれば何台でも同時に利用可能だ。認証法はUSB dongleによるハードウェア認証とライセンスキーを発行するソフトウェア認証を用意。対象は5ライセンス以上購入のユーザーに限られる。



CHAM-Japan
東京支店 孔祖偉支店長

CHAM-Japanでは「AutoCAD®ユーザーのすそ野は広く、2次元の活用も依然根強い。今後は機械設計分野へのアプローチを強め、ZWCADの使い良さを広めていきたい。またターゲットユーザーとしては、AutoCAD®の完全リプレースを狙うというより、取引先や、社内の設計部門から送られてきたCADデータの一部を編集するような高価なCADを導入する必要のないライトユーザーの使用に最適と考えており、導入企業はAutoCAD®との併用や使い分け、共存することでコスト削減と効率改善効果が期待できる」(孔支店長)と機械分野での知名度アップとAutoCAD®との共存を図り、需要掘り起こしに取り組む。

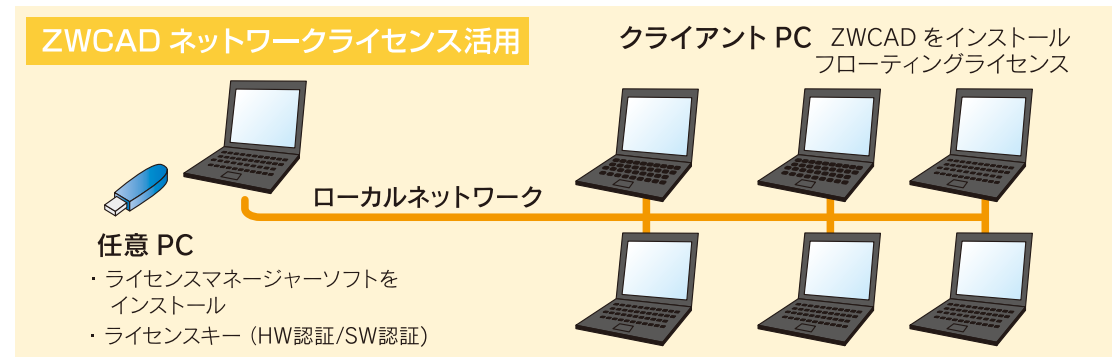


図 ネットワークライセンス活用イメージ

販売元・問合せ先： コンセントレーション・ヒート・アンド・モーメンタム・リミテッド
東京支店 (CHAM-Japan) ZWCAD事業部 <http://www.zwcad.co.jp>
体験版ダウンロード <http://www.zwcad.co.jp/download.html>

開発元： ZWCAD SOFTWARE CO., LTD. <http://www.zwcad.jp> **ZWCAD**